

肥後神楽伝承者とダンディーなトランペッター

安永3町内にある朝の安永神社は、境内の木立に太陽が注いで、厳かな光景を見せています。ここは地域の氏神様として、古くから大切にあがめられてきた場所です。

宮司の徳島嗣さん(73)は安永3町内は「こは、子どもの頃の遊び場でした。小さい頃から眺めてきたご神木のクスノキやナギの木もずいぶん大きくなりました」と話します。徳島さんは肥後神楽の伝承者の一人で、子どもたちや20代〜60

安永神社の宮司を務める徳島さん



境内の中にある大きなナギの木

代の人たちにも教えているそうです。

安永神社の隣に住む木下文洋さん(81)は安

永3町内を訪ねました。自宅のスタジオに案内されると、木下さんはおもむろにトランペットを取り出し、ムーディーなジャズの音色を奏しませてくれました。

自衛隊の音楽隊に所属し、58歳で退官した木下さん。その後は、音楽や剣道、居合道などの指導者として活動し、45年前に町の消防団で結成された「益城消防音楽隊」も立ち上げました。

一緒に暮らす長男の繁樹さん(55)も自衛官で音楽隊に所属。木下さんが現役の際は、西部方面音楽隊で親子で演奏する事もあったそうです。また繁樹さんは、益城中吹奏楽部の指導も行いました。学生たちは部活



地域の氏神さまとしてあがめられている「安永神社(安永権現社)」



うっとりする音色を聞かせてくれた木下さん

後も、木下さんのスタジオに足を運び熱心に練習したそうです。壁には、ここに通ったかつての中学生たちの写真が大切に飾られています。

ひょうたんのオブジェにびっくり!!

どんどや当日に田んぼで無邪気に自作のゴーカートを走らせた守住保二さん(71)は安永1町内には、後日再会。守住さんはおしゃべりも面白く、どんどやと同じ日に町では成人式が行われており、「あいた、忘れとった。背広ば着て俺もいかやんだった」と集まったみんなを笑わせていました。

手先が器用な守住さんの家の玄関先には、手作りの風情ある花器が飾られています。他にも自ら育てたひょうたんでこしらえたオブジェ



木下さんの自宅の入り口には、トランペットのオブジェが飾られています



西部方面音楽隊時代に共演した木下さん親子。手前左が木下さん、右が長男の繁樹さん



北海道旭川出身の妻の禮子さん(78)と木下さん